

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
第6回産学連携人材ニーズ交流会  
開催要項

日時：平成27年3月4日（水）13:30～17:00  
17:15～19:00（情報交流会）  
場所：新宿住友ホール：東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビルB1  
地下鉄大江戸線「都庁前駅」A6出口直結 各社線「新宿駅」徒歩7～9分

## 1. 開催趣旨

成長社会から成熟社会への大きな変化が始まっています。これまでの成功体験モデルやシステムへの依存から新しい価値創造を目指した社会へ脱皮することが避けて通れなくなっています。

このようなイノベーションをもたらす時代を切り拓いていくには、常識に囚われることなく、さまざまな領域から多様な情報や考えを組み合わせ、新しい視点を提案して挑戦し行動できる実践的な人材力が要請されます。

そこで、今回は社会を変革するエンジンになる情報通信分野の人材教育の在り方についてグローバルな視点から理解を深め、私立大学としてどのように情報通信分野の教育改善に活用できるかを考える場にしたいと考えております。

## 2. プログラム

13:30 開会挨拶 向殿政男氏（公益社団法人 私立大学情報教育協会会長）

産学連携人材ニーズ交流会の目的、今までの取り組み経過、今後の進め方等について報告・説明します。

### 基調講演

「新しい社会を築き、経済成長を加速させるITによる社会変革を考える」

小池雅行氏（経済産業省 商務情報政策局 地域情報化人材育成推進室長）

昨年6月に閣議決定された「世界最先端IT国家創造宣言」の狙いは、ITによって新しい社会を築き、経済成長を加速させることにあります。積極かつ果敢に利活用するために国としてさまざまな施策が打ち出されている中で、ITが成長のエンジンとして、今後の経済、社会にどのような変革を起すのか、またそれに向けた課題について紹介いただく。

### 課題提起

1. 「情報通信分野の人材教育に必要な「デザイン思考」と「分野横断教育」の重要性を考える」

栄藤稔氏（株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 執行役員 イノベーション統括部長）

システムを造るための技術よりもシステムを利用する人達に感動を与えられるようにすることが重要である。建築家が顧客と対話して設計図を描くようにICT技術者自らが農業、医療、運輸、不動産など様々な課題と向き合い俯瞰して設計する「デザイン思考」への転換が求められる。このようなイノベーションには、環境、経済、人間工学などの総合的な能力を学ぶ「分野横断的な教育」が必要となることの理解を深める。

2. 「情報通信分野の人材教育に必要なビッグデータの利活用力の重要性を考える」

佐藤一郎氏（国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 教授）

家電、自動車等のあらゆるモノがインターネットを通じて接続されるIOT（Internet of Things）の時代を迎え、巷にあふれる膨大で多様なビッグデータをいかに扱い、ビジネスや社会課題の解決に役立てるかの重要性がこれまで以上に増している。このような情報が情報を生む時代の情報通信系分野の人材教育とビッグデータの利活用力の重要性を考える。

休憩（10分）

### 全体討議

今後の情報通信分野の人材教育について考える討議

課題提起及び教育再生実行会議のテーマなどを踏まえて、情報系人材の教育の方向性について意見交換し、分野横断型教育への転換を考察する。

教員の教育力の向上を目指すための「企業現場研修」の取り組み報告

学生に気づきを喚起させるための「社会スタディの場」の取り組み報告

17:00 閉会

17:15 情報交流会 47階 スカイルーム会議室 「Room 2」（無料）

産学連携による人材教育を実現する意見交流と理解・認識を深める場として設定します。  
簡単な飲み物等を用意しておりますので積極的なご参加をお願いします。